

第46回 福岡市人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」ご案内

福岡市人権尊重推進委員会では、部落差別をはじめ一切の差別をなくすため、昭和47年度から福岡市人権尊重週間（12月4日～10日）に各種行事を実施しています。
本年度もその取組の一つとして「人権を尊重する市民の集い」を下記のとおり実施いたします。ぜひ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

テーマ

家庭や地域・職場の中で、部落差別をはじめ一切の差別をなくす取組を一人ひとりが推進しよう

1 時間 午後1時30分～4時00分

2 内容

(1)実践報告 「学校・地域・職場での人権学習の取組」

(2)講演 「部落差別をはじめ一切の差別をなくすために」

期日	区	実践報告	講演講師（敬称略）・講演テーマ	会場	利用交通機関
12/4 (月)	中央	福岡市立福浜小学校 福浜小学校における人権教育の取組 組み	講師： 講演家、フルート・オカリナ奏者 さくらい りょうこ（エスペランサ） テーマ： 奇跡の復帰 光のステージへ 闘病・ひきこもりを乗り越えた先にあるもの	中央市民センター 中央区赤坂2丁目5番8号 問い合わせ先 中央区生涯学習推進課 電話：718-1068 FAX：714-2141	西鉄バス「赤坂門」 「警固町」下車 地下鉄「赤坂」下車
12/4 (月)	早良	大原校区人権尊重推進協議会 考えよう 人の心を 人権を	講師： 元朝日新聞論説委員・中央大学経済学部客員講師 うすい としお 臼井 敏男 テーマ： 部落差別をこえて～取材ノートから～	西南学院大学チャペル 早良区西新6丁目2番92号 問い合わせ先 早良区生涯学習推進課 電話：833-4401 FAX：851-2680	西鉄バス「防皇前」下車 地下鉄「西新」下車
12/5 (火)	博多	博多区男女共同参画代表者会 「料理を作る男」ほか ～博多区男女共朗読劇～	講師： 作家 とらい まさえ 虎井 まさ衛 テーマ： 性同一性障がい～自分らしく生きるとは？ ～	博多市民センター 博多区山王1丁目13番10号 問い合わせ先 博多区生涯学習推進課 電話：419-1025 FAX：419-1029	西鉄バス「山王公園前」 「山王1丁目」下車
12/6 (水)	西	小規模多機能型居宅介護 「三丁目の花や」 「三丁目の花やの取組みについて」 ～事業所のこと、地域との繋がりのこと～	講師： 落語家 つゆの しんじ 露の 新治 テーマ： 新ちゃんのお笑い人権高座 ～笑顔でくらす、願いに生きる～	西市民センター 西区内浜1丁目4番39号 問い合わせ先 西区生涯学習推進課 電話：895-7026 FAX：882-2137	西鉄バス「姪浜駅」下車 地下鉄「姪浜」下車 昭和バス「姪浜駅」下車
12/7 (木)	南	福岡市立老司小学校 老司小学校人権教育の取組	講師： 講師・声優 いちりゅうさい はるみ 一龍齋 春水 テーマ： 中村久子伝 ～生きること、生かされていること～	南市民センター 南区塩原2丁目8番2号 問い合わせ先 南区生涯学習推進課 電話：559-5172 FAX：562-3824	西鉄バス「南市民センター前」 西鉄電車「大橋駅」下車
12/8 (金)	東	若宮小学校PTA 今までの活動と、これからの活動 ～PTA活動で行う人権啓発活動～	講師： 社会活動家・法政大学教授 ゆあき まこと 湯浅 誠 テーマ： 貧困と人権 ～つながりの中で生きるために～	東市民センター (なみきホール) 東区千早4丁目21番45号 問い合わせ先 東区生涯学習推進課 電話：645-1144 FAX：651-5097	JR鹿児島本線「千早駅」下車 西鉄貝塚線「千早駅」下車 西鉄バス「千早駅」「名香野」下車
12/9 (土)	城南	NPO法人キアアセット及び 城南区在住の里親 「地域で子どもをはぐくもう」～里 親制度への取組みと体験談～	講師： スタディライフ熊本特別顧問 たじり ゆきこ 田尻 由貴子 テーマ： 「赤ちゃんポストは、それでも必要です」 ～子どもは未来の宝物～	城南市民センター 城南区片江5丁目3番25号 問い合わせ先 城南区生涯学習推進課 電話：833-4044 FAX：822-2142	西鉄バス「東七隈」下車 地下鉄「七隈」下車

※手話通訳会場（全区）・要約筆記会場（全区）

※公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

【時間】

午後1時30分 開会（開場：午後1時）

午後1時40分～ 学校・地域・職場からの実践報告（約40分）

午後2時30分～ 講師による講演（約90分）

午後4時00分 閉会

講演講師紹介

開催日 会場 講演テーマ	講師 (敬称略)	プロフィール
12/4 (月) 中央市民センター 奇跡の復帰 光のステージへ 闘病・ひきこもりを乗り越えた先にあるもの	さくらいりょうこ 	将来を嘱望されるフルーティストとしての途上、難病「クローン病」を発症、壮絶な闘病生活が始まる。挫折の果ての7年間の閉じこもり生活を乗り越え、見事再起を果たす。闘病を乗り越えての演奏活動は、生きている喜びや感謝を伝え、人権・福祉・教育等様々な講演会で好評を得ており、様々な新聞や雑誌、フジテレビ「奇跡体験！アンビリバボー」、テレビ東京「生きるを伝える」、日本テレビ「24時間テレビ」などで取り上げられている。
12/4 (月) 西南学院大学チャペル 部落差別をこえて ～取材ノートから～	うすい としお 白井 敏男 	朝日新聞記者時代から様々な差別や人権の問題に取り組む。同社を定年後も、シニア記者として各地の被差別部落を取材し、「ニッポン人脈記～差別を越えて」（朝日新聞夕刊）を連載。根深い差別の現状を伝え、大きな反響を呼ぶ。 マスコミの部落問題に対する姿勢、取材を通して見えてきたものなどを、ジャーナリストの鋭い視点で語る。
12/5 (火) 博多市民センター 性同一性障がい～自分らしく生きるとは？～	とらい まさき 虎井 まさ衛 	幼児期より性同一性障がいに悩み、大学卒業後、渡米して女性から男性への性別適合手術を受ける。その前後の1987年より、著述・講演など性同一性障がいについての啓発活動を始め、1994年に創刊した「FTM日本」（性同一性障がい当事者・研究者・支援者のためのミニコミ誌）は国内外の研究者・教育者にも広く参考にされていた。また、東京都人権啓発ビデオ（東映製作）への出演、「3年B組金八先生」第6シリーズへの協力、「性同一性障害者特例法」の成立にたずさわるなど、日本の性同一性障がい者に対する医療・行政・教育現場・メディアのあり方等を正しいものにするべく尽力中。『女から男になったワタシ』など著書多数。
12/6 (水) 西市民センター 新ちゃんのお笑い人権高座 ～笑顔でくらす、願いに生きる～	つゆの しんじ 露の 新治 	上方落語家。大阪市生野区生まれ。1974年狭山事件の高裁判決から部落差別の問題を知る。その後、奈良の夜間中学設立運動に関わり、夜間中学生に背中を押され落語家になる。人権啓発を「タテジワ」から「笑顔」と願い「お笑い人権高座」を口演。「加差別」「自分差別」という造語も交え、「お客を眠らさない話」を目指している。 年に一度福岡市内で小さな落語独演会を開催。また、中国語落語も手掛け、定期的に中国でも公演している。常席の天満天神繁昌亭（大阪）、鈴本演芸場（東京）にも出演。2015年、人権高座の功績が認められ第6回奈良人権文化選奨受賞。同じく2015年、「露の新治寄席」の成果により第70回文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。
12/7 (木) 南市民センター 中村久子伝 ～生きること、生かされていること～	いちりゆうさい はるみ 一龍斎 春水 	1976年3月黒沢良主催声優学校卒業。在校中から声優活動を始める。宇宙戦艦ヤマトの森雪やシティーハンターの野上冴子刑事など、声優として活躍。また、1992年9月講師一龍斎貞水に入門。2004年3月真打ち昇進。女性が語る講談として、現代社会に意義の或る新作を語る。声優としても仕事は継続（アメイジングスパイダーマンでメイおぼさん役）する一方、若手声優を育成する学校の所長を務め、指導もしている。
12/8 (金) 東市民センター 貧困と人権 ～つながりの中で生きるために～	ゆあき まこと 湯浅 誠 	東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。 現在、朝日新聞紙面審議委員、日本弁護士連合会市民会議委員。文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター。
12/9 (土) 城南市民センター 「赤ちゃんポストは、それでも必要です」～子どもは未来の宝物～	たじり ゆきこ 田尻 由貴子 	熊本県生まれ。医療法人聖隷会慈恵病院において長年にわたって看護部長を務めるとともに、平成19年に開設された「こののりのゆりかご」及び「SOS相談窓口」運営の中心的役割を果たす。 平成27年4月から一般社団法人スタディライフ熊本（生涯学習支援事務所）特別顧問に就任。望まない妊娠や子育てで悩む女性やその家族に寄り添う24時間対応のフリーダイヤル相談窓口を開設するとともに、全国の小中高校や大学、学会において性教育や子育て、命の大切さについて講演活動を行っている。